

貸借対照表

ジャストサービス株式会社
令和 1年 9月30日 現在

(単位:千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
現金及び預金	28,412	買掛金	18,197
売掛金	35,268	短期借入金	15,000
求償債権	11,068	未払金	3,396
貸倒引当金(流動) △	3,936	未払費用	702
〔営業債権計〕	42,401	未払消費税	1,841
貯蔵品	2,782	未払法人税等	105
短期貸付金	915	前受収益	5,621
仮払金	84	前受金	982
前払費用	602	預り金	7,552
未収入金	7	預り敷金	600
未収法人税等	1,302	賞与引当金	2,613
前渡金	9,520	家賃保証引当金	3,335
【流動資産計】	86,028	【流動負債計】	59,948
建物	31,547	退職給付引当金	2,481
建物付属設備	3,086	【固定負債計】	2,481
工具器具備品	161	【負債の部合計】	62,430
土地	136,830	純資産の部	
(有形固定資産計)	171,625	【資本金】	80,000
電話加入権	55	繰越利益剰余金	129,287
ソフトウェア	3,478	その他利益剰余金計	129,287
(無形固定資産計)	3,533	【利益剰余金計】	129,287
出資金	565	【株主資本計】	209,287
長期貸付金	4,117	【純資産の部計】	209,287
繰延税金資産(固定)	5,848		
長期滞留債権	6,012		
貸倒引当金(固定)△	6,012		
(投資その他資産計)	10,530		
【固定資産計】	185,689		
資産の部合計	271,718	負債・純資産の部計	271,718

個 別 注 記 表

I 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. たな卸資産の評価基準及び評価方法

(1) 販売用不動産、未成工事支出金、仕掛販売用不動産

個別法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)

(2) 貯蔵品

最終仕入原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産(リース資産除く)

主として定率法を採用しております。

ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物及び平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備・構築物については定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物及び構築物	13～27年
建物附属設備	10～15年
工具器具備品	5年～6年

(2) 無形固定資産(リース資産除く)

定額法を採用しております。

ただし、自社利用のソフトウェアについては社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込み額を計上しております。

(2) 賞与引当金

従業員の賞与支給に備えるため、賞与支給見込額のうち当事業年度に負担すべき額を計上しております。

(3) 家賃保証引当金

一部の管理委託契約に基づく家賃保証等の支払に備えるため、翌事業年度以降の支払見込額を計上しております。

(4) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるために、退職給付引当金及び退職給付費用の計算に、退職給付に係る期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を用いた簡便法を適用しております。

4. 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式によっており、資産に係る控除対象外消費税及び地方消費税は、発生事業年度の期間費用としております。

II 株主資本等変動計算書に関する注記

当該事業年度の末日における発行済株式の数 500株

III その他の注記

有形固定資産の減価償却累計額は、38,242千円